



あすは「理学療法の日」

多彩な取り組みで社会支える

理学療法士

岡山県内の理学療法士養成校(順不同)

4年制大学

- ・川崎医療福祉大学(倉敷市松島)
- ・吉備国際大学(高梁市伊賀町)

4年制専門学校

- ・玉野総合医療専門学校(玉野市築港)
- ・朝日医療大学校(岡山市北区幸運町)

3年制専門学校

- ・川崎リハビリテーション学院(倉敷市松島)
- ・岡山医療技術専門学校(岡山市北区大供)
- ・倉敷リハビリテーション学院(倉敷市幸町)

第7回

子どもの福祉機器 フェスティバル in 岡山

入場無料

日時
9月23日(日)
10:00~16:00会場
旭川荘 療育・医療センター
(岡山市北区祇園866)

展示内容

車いす、歩行器、靴、自助具、姿勢保持具、手すり、ベッド、リフト、吸引器、膳下食、栄養補助食品、福祉車両など

【主催】一般社団法人 岡山県理学療法士会
社会福祉法人 旭川荘
旭川荘 療育・医療センター

お問い合わせ

旭川荘 療育・医療センター
☎086-275-1972当日は
☎086-275-8555

企画・制作／山陽新聞社広告本部

介護予防活動で人生健康に

体操教室や講座、相談会を開催

理学療法士の活動の場は広がっています。医療現場はもちろん、介護やスポーツ、子どもの発達や健康支援など多彩な分野で社会に役立つ取り組みが行われています。岡山県理学療法士会が特に力を入れている分野の一つが介護予防活動。平均寿命が伸びた現代、健康で元気に暮らせる「健康寿命」も延びそう。と中高年層を対象に、健診相談に応じたり、効果的な運動と生徒会が役立つ取り組みが行われています。岡山県理学療法士会が介護予防活動を行っています。

理学療法士の活動の場は広がっています。医療現場はもちろん、介護やスポーツ、子どもの発達や健康支援など多彩な分野で社会に役立つ取り組みが行われています。岡山県理学療法士会が特に力を入れている分野の一つが介護予防活動。平均寿命が伸びた現代、健康で元気に暮らせる「健康寿命」も延びそう。と中高年層を対象に、健診相談に応じたり、効果的な運動と生徒会が役立つ取り組みが行われています。岡山県理学療法士会が介護予防活動を行っています。



岡山ダイハツ本店で開かれた高齢者向け運動講座で認知症予防に効果的な体操をレクチャー



県内で開かれる健康イベントでは参加者一人一人の状況に応じて健康相談したり、体操の紹介をした

あす7月17日は「理学療法の日」です。超高齢社会となった現在、理学療法士（国家資格）は体づくりと日常生活動作の専門家として、医療分野をはじめ、介護予防や健康増進などの分野で大きな役割を果たしています。一層の活躍が期待される理学療法士の取り組みを紹介します。

6（昭和41）年、理学療法士11人が日本理学療法士協会を結成した7月17日になんて制定しました。広く国民への理学療法の啓発と、理学療法士自身がその責任を再認識する日としています。おかげさまで本会は昨年50周年を迎

06（昭和41）年、理学療法士11人が日本理学療法士協会を結成した7月17日になんて制定しました。広く国民への理学療法の啓発と、理学療法士自身がその責任を再認識する日としています。おかげさまで本会は昨年50周年を迎

一般社団法人 岡山県理学療法士会
國安 勝司 会長

このたびの大震により被害を受けました。また、新たな半世紀への一步を踏み出しました。現在岡山県には約2千人の理学療法士（日本全体では約14万人）が存在し、病院や介護施設で高齢者や障がいを持つ老人保健施設（デイケアなど）さまの場所で高齢者や障がいを持つ方々のリハビリテーション

え、新たな半世紀への一步を踏み出しました。現在岡山県には約2千人の理学療法士（日本全体では約14万人）が存在し、病院や介護施設で高齢者や障がいを持つ老人保健施設（デイケアなど）さまの場所で高齢者や障がいを持つ方々のリハビリテーション

への協力を行っています。また市町村のみならず、企業と連携をし、地域の一般住民の方々の健康維持のための活動も始めております。生活習慣病予防、転倒予防を含め、健康寿命を延ばすために、われわれの得意とする運動療法を役立てたいと思っております。また、今回の災害時に災害リハビリテーションとして、災害弱者・被災高齢者などの生活不活発化の予防を行い、自立生活を再建し復興を目指して支援してまいります。

「笑顔をあきらめない」。これがわれわれ理学療法士のキャッチフレーズです。座る、立つ、歩くところの運動の大切さを伝えます。ほかにも地域の公民館やふれあいセンターに出向き、各病院や施設に勤める理学療法士がオリジナルの介護予防体操を教えたり、健康相談会を開いています。今年は岡山ダイハツ販売（岡山市北区野田）の65歳以上の高齢者を対象にした運動講座に協力。県内の6店に県理学療法士会員が講師として参加し、安全に運動するための頭と体の健康を維持する運動の指導を行いました。

6月20日、岡山ダイハツ本店（同所）であった講座には高齢ドライバーら約20人が参加。県理学療法士会員3人の指導で片足立ちや肩甲骨を動かす体操などを体験。さらに椅子に座ったまま脚を片方ずつ左右に開いたり戻したりを繰り返しながら、3倍数の回で手をたたくといふ遊びです。コグニティブも行いました。参考者は「頭と体を同時に動かすことが大事だと分かりました。年を取つても元気になつていきたいたので、日々の生活に取り入れるつもりです」と話していました。

このたびの大震により被害を受けました。また、新たな半世紀への一步を踏み出しました。現在岡山県には約2千人の理学療法士（日本全体では約14万人）が存在し、病院や介護施設で高齢者や障がいを持つ老人保健施設（デイケアなど）さまの場所で高齢者や障がいを持つ方々のリハビリテーション

いつも通りが続くために